

今年から新しい試みとして広報誌レタスに「女性部だより」を折り込み、女性部以外の方にも読んでいただくことができました。

また、生活物資部の廃止や、役員通知などできる範囲での連絡手段としてLINEを使うことで役員の負担を減らし、時代に合わせて女性部の形を変化させています。女性部以外の方でも気軽に参加し、交流しながら活動を知っていただけるイベントも計画していきたいと考えています。



5月9日川上支所家庭菜園グループでは、長野市方面へ視察研修会を行ないました。直売所に寄り旬のお野菜や果物を買ひ、小布施の町並み散策も行ないました。昼食は長野市にある自社農園や長野県産の新鮮野菜を用いた多彩メニューを提供しているビュッフェレストランでいただき、その後は善光寺を参拝し帰路に着きました。参加した女性部から「これで秋まで農作業頑張れます!」という声が聞かれました。家庭農園グループでのこれからの活動では秋以降に料理教室を計画中です。





いよいよ長野八ヶ岳では本格的な農業の季節となりました。

野辺山支所女性部の活動の少しの間お休みです。女性部員からは、「秋以降の活動を楽しみに農作業を頑張ります」という声も聞かれました。

野辺山支所の秋以降の活動としては、視察研修会や学習会や散策教室など、いろいろと予定しております。女性部の皆さんが笑顔でイキイキと活動できるよう、事務局としても精一杯お手伝いをしていきたいと思ひます。



5月10日に女性部部員7名は南相木小学校にて「ふるさと農業体験」に参加しました。食農教育の一環として児童が畑作りから野菜の栽培・収穫、収穫した野菜を味わうまでを体験し、南相木小学校全学年が毎年取り組んでいます。南相木女性部員は小学校2年生とともにマルチ張り、苗植えなどを行ないました。収穫した大豆を使い、今年も児童とお豆腐作りを行なう予定です。





小海支所女性部の営農生活部では、5月29日に佐久市平尾にある「佐久クリーンセンター」の施設見学を行ないました。家庭で出したゴミはどのように処理され、その後どのようなになっているのか!? という疑問から、今回の施設見学を計画しました。佐久クリーンセンターは佐久市、北佐久郡施設組合が運営しているゴミ焼却施設で、一部南佐久の町村からも委託を受け、可燃ゴミの受け入れ処理も行なっています。当日は担当職員の案内で施設を回り、説明を受けました。焼却施設は24時間体制で稼働しており、850℃以上の高温焼却によりダイオキシン類の発生を抑制し、燃やされたゴミは有害物などを分解除却して、クリーンな空気や灰となって排出されます。また、ゴミ焼却時の発生熱は発電機に送ら

れ施設運営に活用し、余った電力は売電されています。クリーンセンターの担当職員は、「物価高の影響でゴミも減っているような気がしますが、日頃からゴミを減らす心がけをしてもらえれば助かります。これからは安全安心なゴミ処理を行なっていきます」と女性部員に話しました。参加した女性部からも「とてもいい勉強になりました。これからはゴミを減らすようにします」と感想が聞かれました。ゴミの量が増えてくると環境に悪い影響を与え、処理場が満杯になり、近い将来、日本中がゴミだらけになることも決して大げさな話ではありません。生活する上でゴミを全く出さないことはできませんが、一人ひとりがゴミを減らす意識をするだけでも、未来の環境を守り続けることに繋がります。とてもためになる勉強ができて、有意義な時間を過ごすことができました。女性部では今後もこのような勉強会を増やしていきたいです。興味のある方はぜひ一緒に女性部活動に参加してみませんか。

